

長崎県の水生生物について



西北小学校6年



令和7年度 もくじ

1	テーマ設定の理由	1 ~ 2
2	研究の方法	2 ~ 4
3	調査地点について	5 ~ 32
4	調査の結果	33 ~ 51
5	生き物の特ちょう	52 ~ 93
6	考えたこと分かったこと	94 ~ 106
7	まとめ	107 ~ 110
8	感想	111 ~ 113
9	その他つかまえた生き物たち	114 ~ 117
10	参考資料	118 ~ 119
11	おまけに	120 ~ 122

Ⅰ テーマ設定の理由

私は、6年間で川や干潟の生物の調査に取り組んできました。

1年生では、「ヌマチチブ」について調べました。河川の下流の石が、ゴツゴツしたところに住んでいました。

2年生では、「カニ」について調べました。長崎北西部の河口干潟に住んでいるカニの特徴を調べました。

3年生では、「エビ」について調べました。長崎県の河川に住んでいるエビを調べました。長崎県南部の川や干潟を何カ所か調べました。そして、エビの特徴も調べました。

4年生では、「長崎県の淡水魚類」について調べました。上五島や平戸、松浦市などに行き、淡水魚や汽水にいる魚の特徴について調べ、表にまとめました。

5年生では、「淡水・汽水域の貝類」について調べました。県内の淡水・汽水域に生息している貝の種類や特徴、分布などを表にまとめました。

1年生から5年生までの自由研究を見てみると、1年生の「ヌマチチブ」をのぞいて、「カニ」、「エビ」、「魚」、「貝」を系統的に継続的に調べることができたと思います。今年度は小学生最後の自由研究になると思うので、1年生から5年生まで調べてきたことを基に、魚類・エビカニ類・貝類といった県内の水生生物まとめたり、さらに調査地点を増やしたりして、長崎県に生息する生物の種類や分布などの特徴をまとめていきたいと思います。

そこで、今年の自由研究のテーマを「長崎県の淡水・汽水域の水生生物」

と、設定しました。

長崎県内に生息している貝や魚、エビ・カニ類の種類や特徴、分布を調べます。昨年度までに、島原半島や佐世保を除く県北エリア、松浦市、五島（上・下）、壱岐を調査してきました。白地図にプロットを打つと、上対馬方面や佐世保方面の調査をする必要性を感じました。よって今年度は、対馬に行って、対馬にしかない生き物などを捕まえたいと考えています。

2 研究の方法

水生生物は、種類によって模様や大きさがちがいます。また、住んでいる環境でも見つかる種類がちがいます。そこで、様々な場所で分布調査を行い、水生生物の種類や特ちょうを調べます。また、環境の違いによって、どのような生物がいるのかをまとめていきたいと考えました。



採集方法としては、上の写真のように、ウェダーを着て、網目が2mm程のたもあみを使って生物を捕まえます。下流側から上流側に移動しながら、岩の下や水生植物の根元の部分を調べていきます。網を下流の方にかまえて、足を使って魚やエビ・カニ類・貝類を追い込みます。下の写真のよう

に網を引きずりながら歩いて捕まえることもあります。



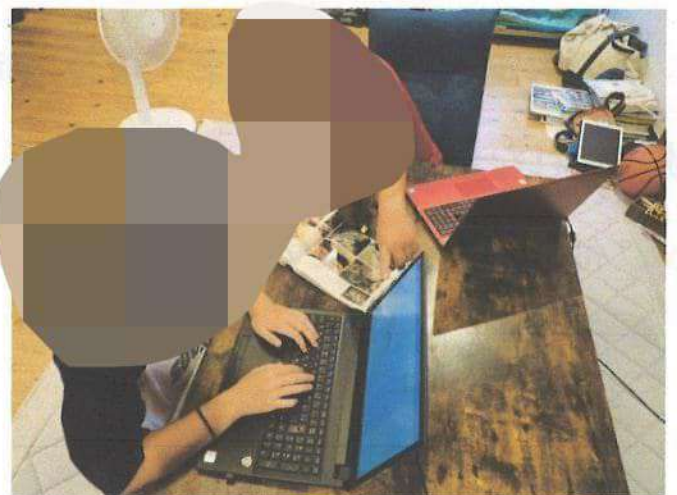
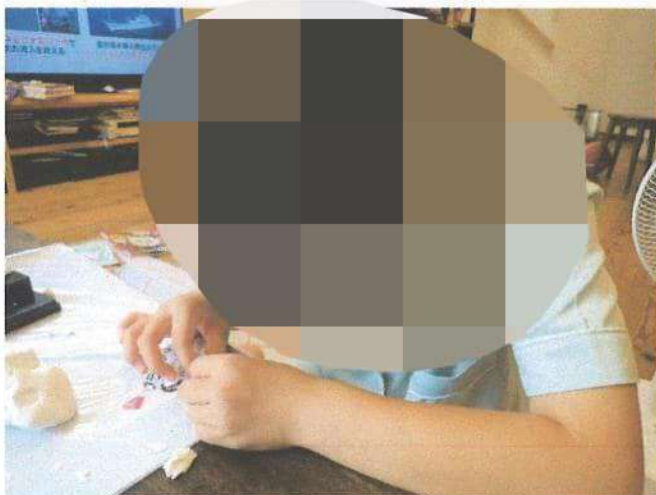
陸上にいるカニや貝類については、岩や堆積した物をめくったり、アシ原を巡ったりしながら、そこにいる生物を捕まえます。捕まえたら、観察用の小さなケースで種類を調べます。



種の同定については、まず自分で同定し、分かる種はメモ帳に記録します。忘れないように、日付と場所も、記録します。分からないものはチェック付き小袋に入れて後で、父に同定してもらいました。



まとめ方としては。パソコンを使って場所や種の説明をまとめました。文章の形式は父に作成してもらい、写真を貼り付けてもらいました。説明内容は参考資料をもとに打ち込みました。作成した文章は父に校正してもらいました。



3 調査地点について (1) 令和6・7年の調査地点

昨年(2023年)の11月から県内32ヶ所をあらたに調べました。

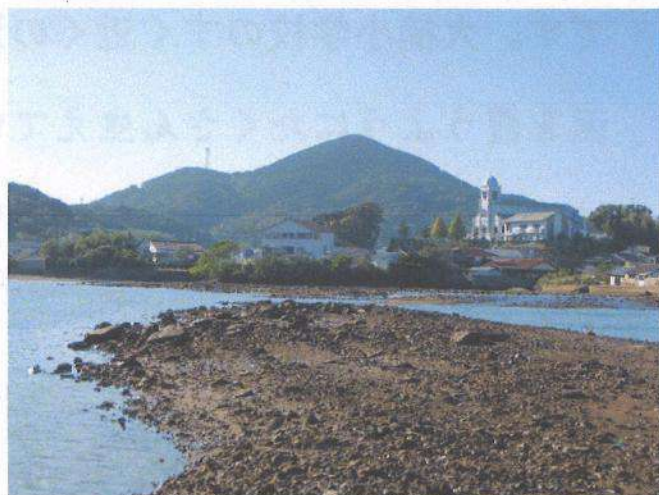
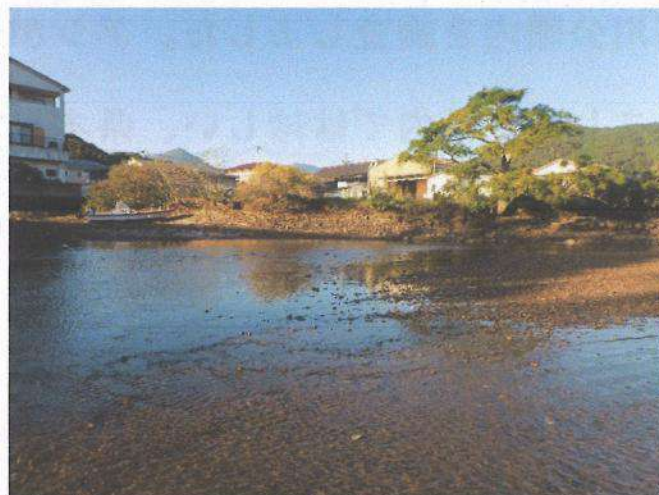
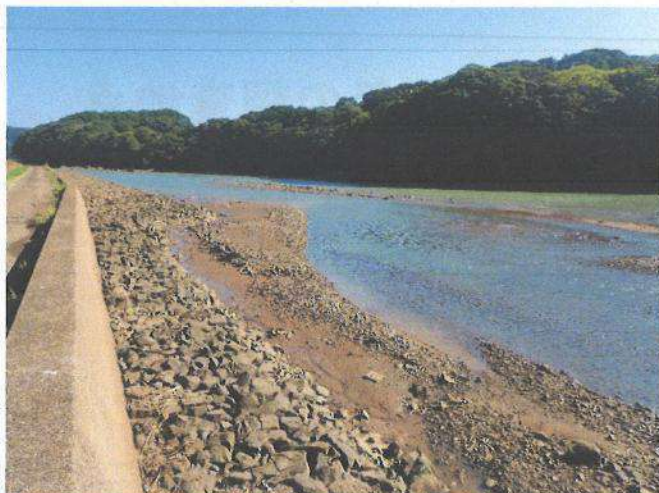
① 東彼杵町 菅無田郷 彼杵川中流 (11月3日)

琴平山北側を水源に大村湾に注ぐ流程延長約6.8kmの二級河川です。大楠小学校のすぐ近くの河川公園内を調査しました。アシが一面を覆うようにたくさん生えていました。県内では珍しい、県本土では彼杵川と川棚川しかいないカワヨシノボリが捕れました。また、ムギツクも捕れました。



② 平戸市 紐差町 安満川河口干潟 (11月3日)

平戸にある安満川と馬込川と中川が合流する河口干潟です。昨年(2023年)の自由研究に出しているカガミガイを捕った場所です。今回の調査では見つかりませんでした。父によると、カブトガニがいるそうです。



③ 平戸市 下中野町 神曾根川中流（11月4日）

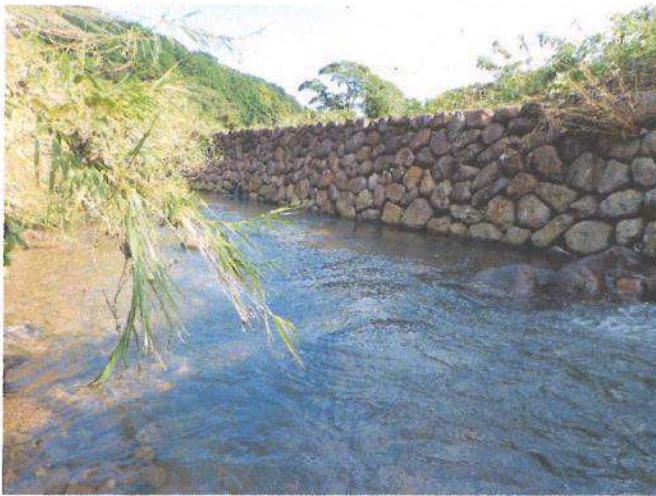


安満岳の東側を水源に木引町付近で古江湾に注ぐ、流程延長約4.6 km の二級河川です。ダムよりも上の方にある中流はなだらかな地形で

両側には水田が広がっていました。前日に雨が降っていたので流れが速かったです。

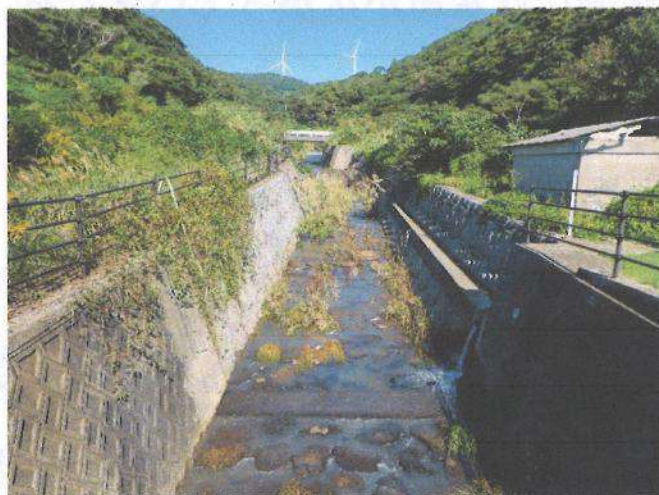
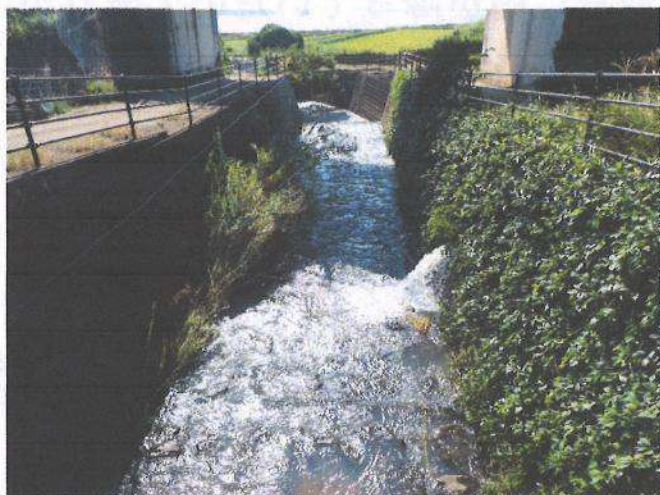
④ 平戸市 山中町 神曾根川上流 (11月4日)

イノシシの柵がたくさんあって立ち入りが難しい場所でした。水量が中流よりも少なく、見かける種類も中流よりも少なかったです。



⑤ 平戸市 生月町南免 神ノ川 (11月4日)

山頭付近を水源に生月町南免付近で海に注ぐ流程延長約1.1kmの二級河川です。ごく小規模な川ですが、上流には合計三つのダムやため池がありました。川の上流で見つかることされているヤマトヌマエビや小規模河川のみ見つかることされているクロヨシノボリが見つかりました。



⑥ 平戸市 生月町壱部 うこの川（11月4日）

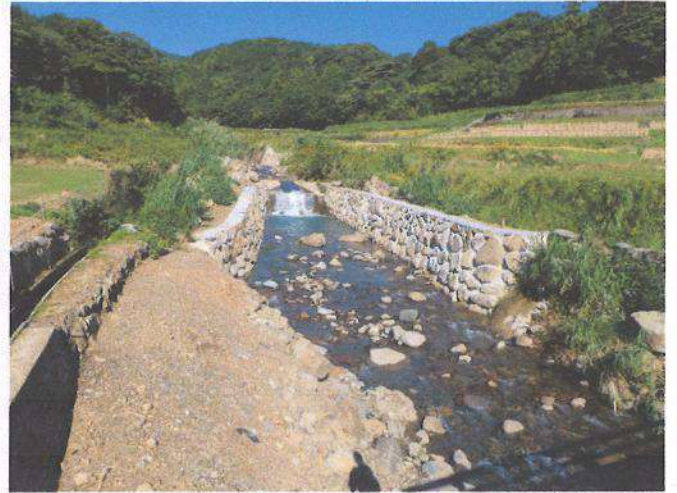
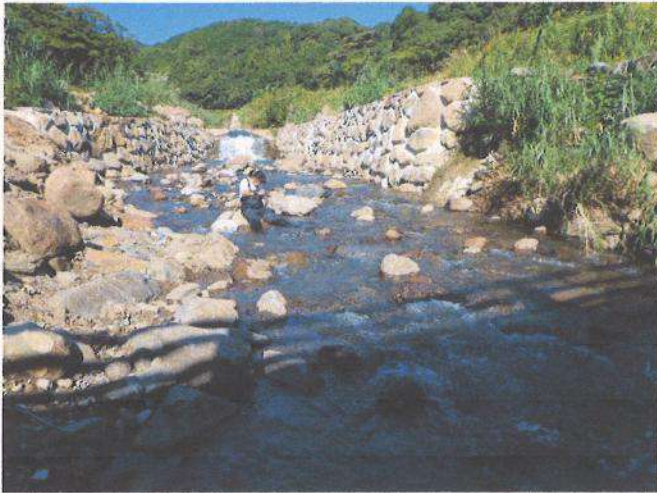
上流にあるため池から海に注ぐ、全長約1kmの小河川です。調査区間は、コンクリート三面張りでした。父が完全に私に任せてくれた川です。父に指示されながらもドジョウを捕まえました。山から一気に海に下る標高差のある小河川です。集落の横を川が流れています。



⑦ 平戸市 深川町 安満川上流（11月4日）

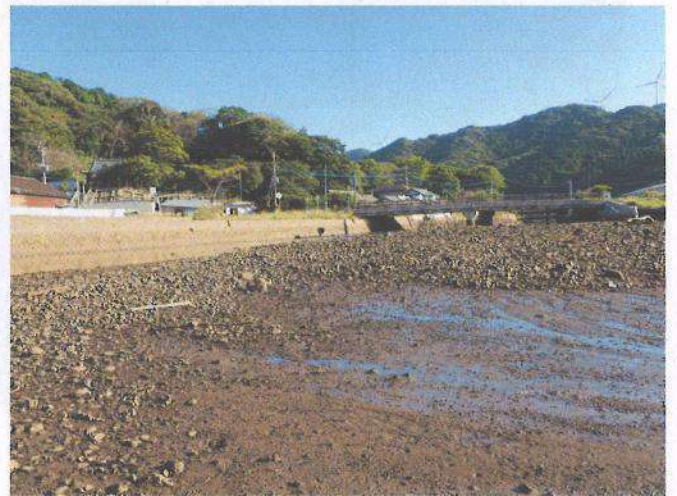
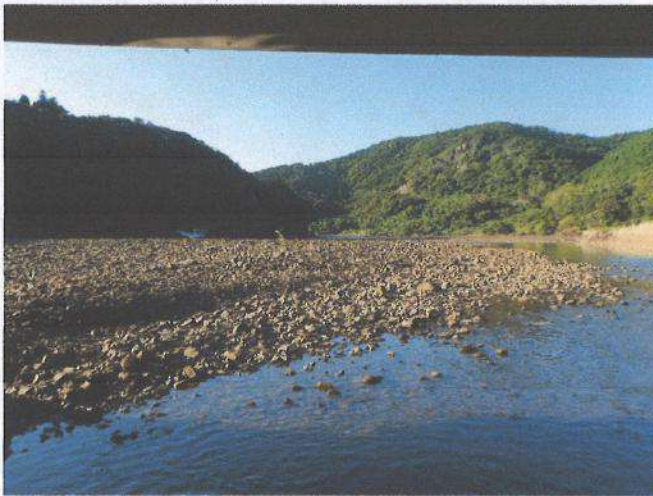
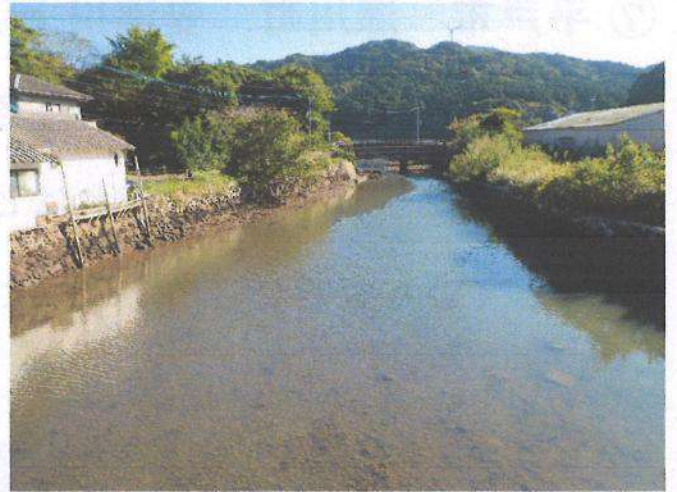
安満川の南斜面を水源に、紐差付近で木々津湾に注ぐ流程延長約2.

1 km の二級河川です。流れはとてもきれいでしたが、調査地点は工事
をしていた影響からかほとんど、生き物を確認することが出来ません
でした。



⑧ 平戸市 下中津良町 敷佐川河口（11月4日）

平戸中部の慈眼岳南側を水源に若宮浦に注ぐ、流程延長約3.6 km の
二級河川です。中津良川と合流し広大な干潟を作っています。軟泥質
の干潟が広がっており、非常にぬかるんでいました。左岸に堤防があ
り、軟泥の塩性湿地になっています。ここには、ドロアワモチがたく
さん生息していました。



⑨ 諫早市 仲沖町 中央浄化センター前（3月30日）



諫早市仲沖町にある、中央浄化センター前にある都市下水で調査しました。川底がコンクリートでしたが所々に土砂がたい積していて、

そこに草が生えていました。アメリカザリガニが土砂のところに巣を作っていました。ヤリタナゴやナマズが見られました。

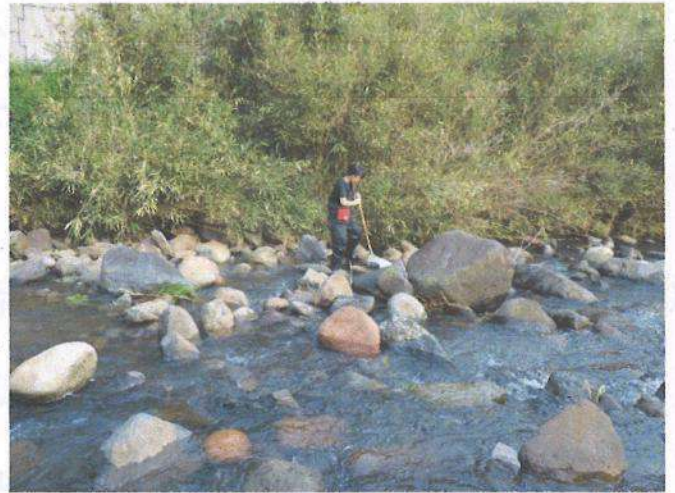
⑩ 諫早市 本野町 本明川中流（４月１９日）

本明川は五家原岳南西側を水源に諫早湾干拓北部排水門で諫早湾に注ぐ流程延長約 28 km の県内唯一の一級河川です。調査地点は、本野付近（西九州新幹線の橋脚より上流側）で調査を行いました。思った以上に流れが速く、またアシやダンチクが広がっていて、動きにくく、調査がとても難しかったです。思ったほどの成果は出ませんでした。父や兄の調査では、長崎県内でも珍しい魚が確認されているようです。



⑪ 諫早市 湯野尾町 本明川水系湯野尾川（４月１９日）

上記の本野のより 2 km 程上流の本明川支流です。父と兄がここでアリアケギバチやムギツクを捕まえたことがあるので、確認しに行きました。しかし、今回の調査では見つかりませんでした。代わりに、大きなウシガエルを見つけました。



⑫ 大村市 上諏訪町 大上戸川中流（4月19日）

琴平岳南側を水源に、水主町付近で大村湾に注ぐ流程延長約 3.6km の二級河川です。大村市史によると、昔は大村川とよばれていたそうです。大村の中心を流れる川で高速道路の橋脚の下流側を調査しました。流れのあるところでヨシノボリ2種確認しました。



⑬ 波佐見町 小樽郷 川棚川稗ノ尾河川公園（4月20日）

川棚川本流の上流部にあたる稗ノ尾河川公園付近を調査しました。河川公園内はマシジミの仲間が多数生息していました。また、川の中では、県

内でも3河川でしか見られないカワヨシノボリがたくさんいました。



⑭ 波佐見町 井石郷 川棚川支流井石川（4月20日）

川棚川の中流域にある波佐見やきもの公園を迂回するように流れる支流です。中尾山に向かう橋付近で調査を行いました。水量は多くなく、岩がゴロゴロしていました。稗ノ尾河川公園付近で多く見られたカワヨシノボリが全くいませんでした。



⑮ 波佐見町 金屋郷 金屋川合流点（4月20日）

川棚川中流(今里酒造近く)で金屋川と合流する場所を調査しました。

右岸側に湿地状の場所があってウシガエルの幼体がたくさんいました。
合流点はため池状になっており、スッポンやアブラボテが見られました。
父によると、ここではナマズが見られるとのことでしたが、確認できませんでした。



⑩ 波佐見町 川内郷 川棚川水系川内川（4月20日）

波佐見町川内郷で川棚川と合流する支流です。簡易浄水場敷地内にある河川公園内を調査しました。ここでは、カワヨシノボリがたくさん見られましたが、多くの種類を見つけることが出来ませんでした。



⑪ 波佐見町 村木郷 川棚川水系村木川（4月20日）

佐賀県境（三領石付近）を水源に、波佐見病院付近で川棚川と合流する支流です。父によると、川棚川の中で最も魚種が多く、調査が楽しくなるというポイントだそうです。アナカリスの群落が所々に広がり、左岸側に深い淵が点在するなど川の様相が豊かです。県内では、ここでしか見られないオオキンブナを捕まえました。



⑫ 川棚町 志折郷 川棚川水系志折川（4月20日）

志折川は、二ツ岳東側を水源に志折郷で川棚川と合流する支流です。川底が岩盤で水も多く流れていなかったため、あまり種類を確認することが出来ませんでした。私の史織と音は一緒ですが、意味は違いました。



①9 川棚町 川棚川中流中田橋下（4月20日）

川棚川本流の中流側の地点で、猪乗川内川合流点より300m程下流の地点です。下流側に堰堤があり、水の流れが、ほとんどなく沼のような状態でした。メダカやイトモロコなどが、多数確認できました。

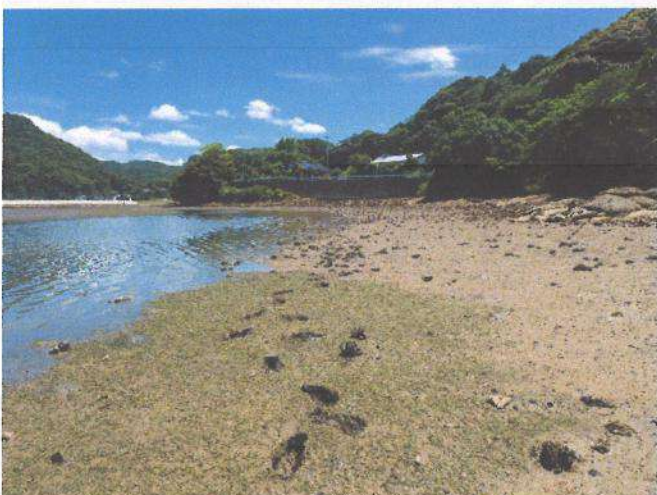
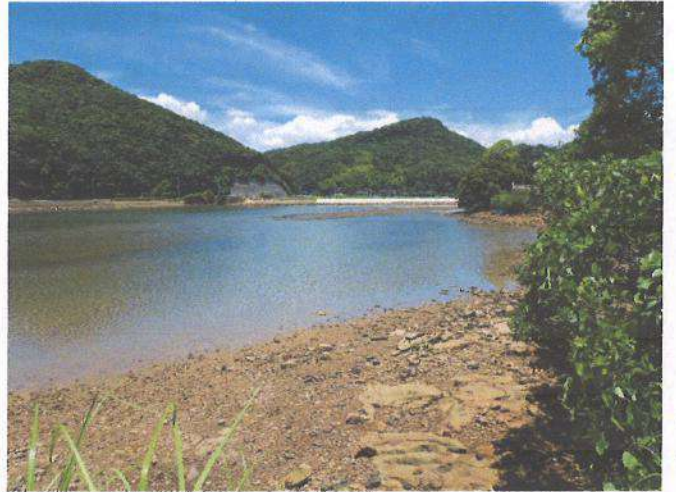


②0 川棚町 岩屋郷 川棚川水系石木川（4月20日）

石木ダム建設予定地内のこうばる公園前の地点を目視調査しました。父によると、ヤマトシマドジョウ、カマツカ、オオヨシノボリが生息しているそうですが、アマガエルとスッポンのみ確認できました。



②佐世保市 小佐々町白之浦 小佐々浦（7月20日）



小佐々浦の左岸側を調査しました。軟泥質の広大な干潟が広がり、移動や調査がとても大変でした。見つかった種類も非常に多く、メモ帳2枚分

程書きました。中でも、カニノテムシロガイやムツハアリアケガニといった非常に珍しい生き物が見つかって、自然が豊かだなと感じました。父によると、タビラクチやチワラスボ類等、県内でも貴重な種類の生息地だそうでしたが、今回の調査では確認できませんでした。

②佐世保市 小佐々町 小佐々川中流（7月20日）

金比羅岳の北東斜面を水源に小佐々浦に注ぐの流程延長約4kmの二級河川です。調査地点は、中流から下流の区間です。川底が岩盤で、土砂のようなものがなく、特にハゼ類が多く確認できました。



③対馬市 美津島町 洲藻川河口（7月28日）

対馬行のフェリーから直接向かった地点です。この川は、白岳の南東斜面を水源に洲藻湾に注ぐ流程延長約3.8kmの二級河川です。この川は、小学校1年生の時に、ヌマチチブの研究で初めて調査した川です。今回の調査地点は下流の干潟や河原です。父がチゴイワガニを探して回っていたので、私がその他の生き物を調べました。そして、私の大好きなマメコブシ

ガニが見つかってとてもうれしかったです。



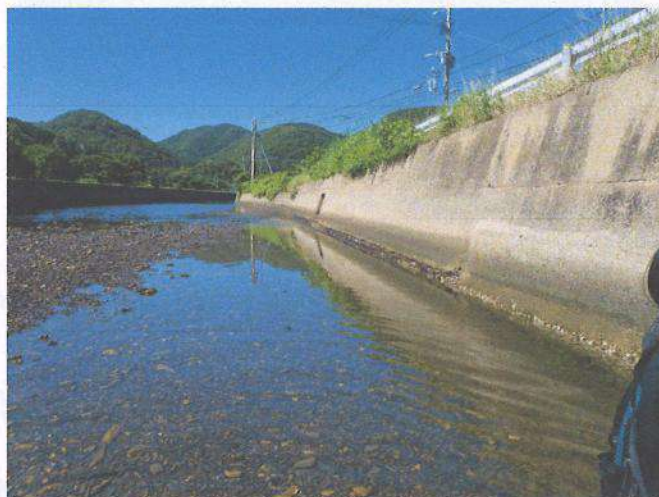
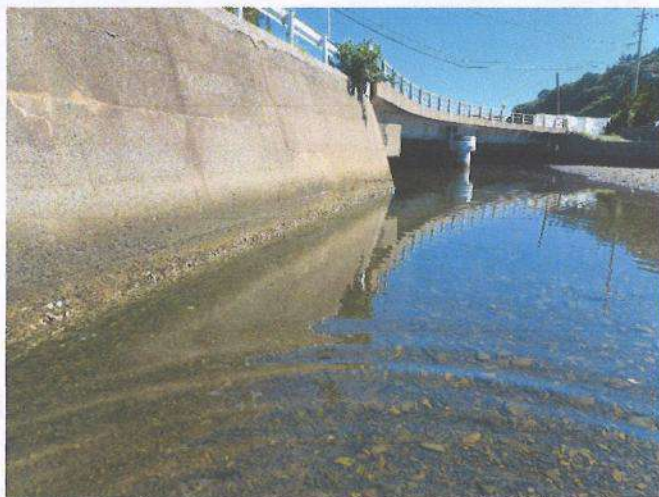
②4対馬市 峰町佐賀 佐賀川（7月28日）

高野山の南側斜面を水源に佐賀浦に注ぐ流程延長約2.7kmの二級河川です。この川は、水量が少なく調査地点より50m上流側は水が流れていませんでした。川底は、堆積岩が積もっていて、水がたまりにくいのだそうです。川の水温が結構高くて、たくさん種類を見つけることはできませんでした。淡水の染み出しがある場所では、生まれて初めてイドミミズハゼを捕まえることが出来ました（写真撮影後元に戻しました）。



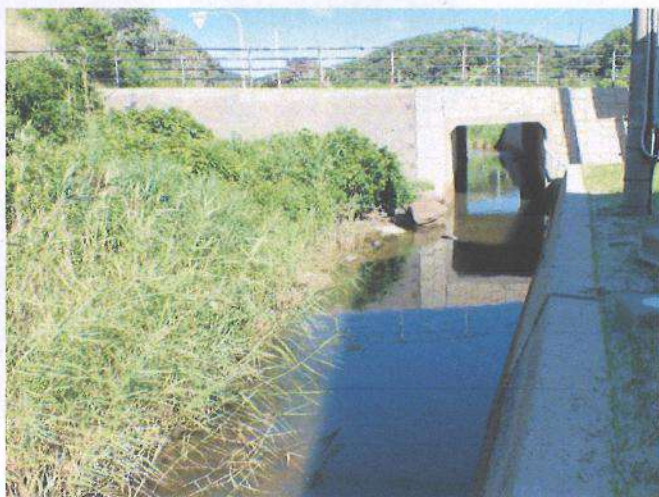
②⑤対馬市 上対馬町芦見 芦見川（7月28日）

鳴滝山南東側を水源に、芦見漁港で対馬海峡東水道に注ぐ流程延長約2.9kmの二級河川です。この川は水量が少なく、常に流れていて、河口右岸側に小規模の干潟があり、ここでチゴイワガニやヒナハゼやウナギの子を多数確認しました。



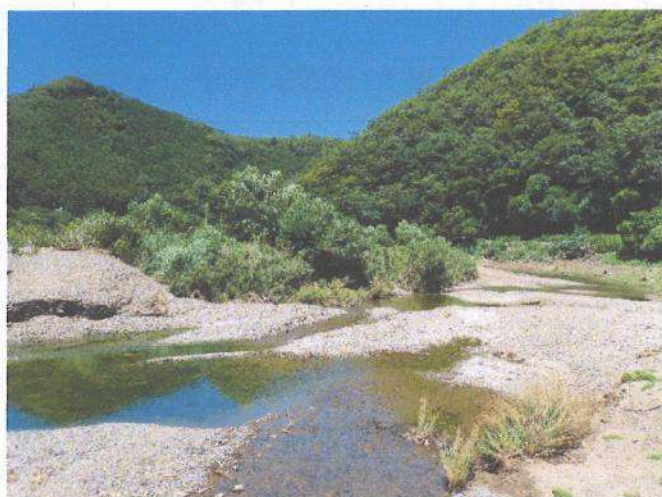
②⑥対馬市 上対馬町西泊 三字田浜流入河川（7月29日）

三字田浜右岸側に流れ込む小規模河川です。砂底で岩が点在する環境でした。ウェダーを履かず目視のみで調査をしました。ゴクラクハゼやクサフグ等を見つけることが出来ました。



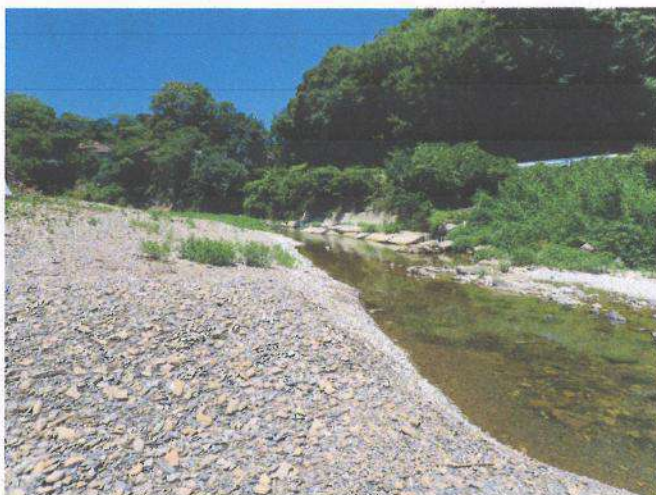
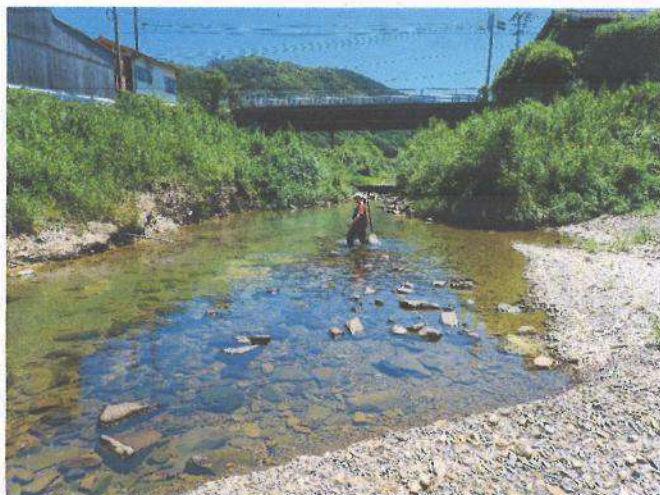
②7 対馬市上県町 佐護 佐護川上流（7月29日）

香ノ木山南斜面を水源に佐護湾に注ぐ流程延長約 7.3km の二級河川です。中流にある砂防ダムの上流側を調査しました。水が透き通ってきれいな川だと思いました。しかし、イノシシの足跡やシカの糞を多数確認したり、ツシマヤマネコの足跡（不明瞭）が見られたりと、生き物の生息圏でした。タカハヤや本土では見られないヌマエビをたくさん見つけることが出来ました。



②8 対馬市 上県町佐護 佐護川合流点（7月29日）

佐護川と仁田ノ内川が合流する地点です。大雨が降ると国道が通行止めになる有名な場所ですが、仁田ノ内川は水が全て伏流しており、大きな道路のようでした。調査地点は、きれいな水が流れ、合流点より 50m 下流側に大きな淵があり、ヌマチチブやゴクラクハゼなどがたくさんいました。また、ウグイがたくさん見られました。



②9 対馬市 上県町西里 佐護川流入水路（7月29日）

対馬に住んでいたころ、佐護米の田植え体験で来た場所です。佐護川に流れ込む農業用の水路で、メダカがたくさん泳いでいました。マルタニシやフナなど、たくさんの生き物がいました。父はクサガメを見つけ、「くさい」と言いながら遊んでいました。



③0 対馬市 上県町東里 佐護川支流仁田ノ内川（7月29日）

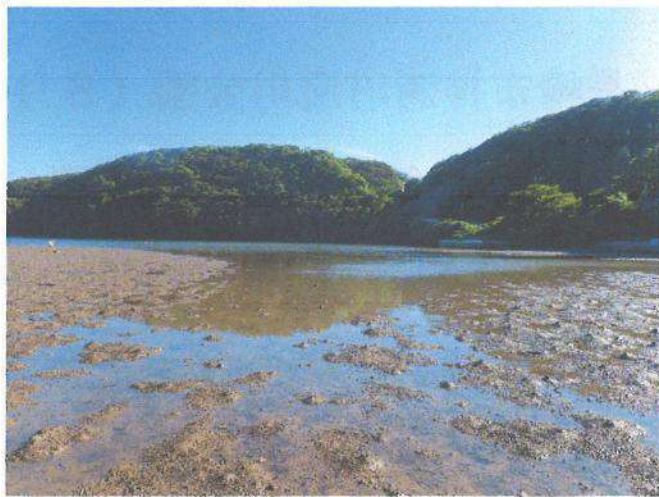
御岳の西側付近を水源にする支流の一つです。川底は岩盤で、美しい溪流の様相でした。私が調査の準備をしている時に不審者と思われたのか、警察に職務質問を受けました。クロヨシノボリやヌマエビ等を見つけるこ

とが出来ました。



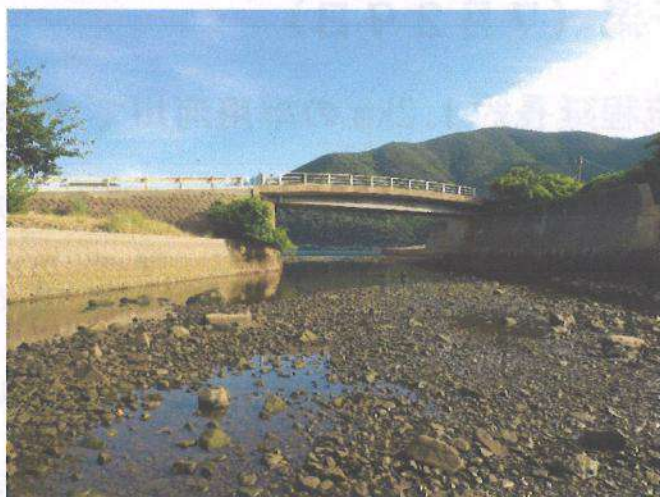
③ 対馬市 豊玉町 佐保川河口干潟（7月29日）

岳ノ山西側を水源に佐保浦に注ぐ流程延長約1.2kmの準用河川です。非常に自然度の高い軟泥質の干潟が広がっており、移動や調査が難しかったです。父はムツハアリアケガニやチゴイワガニを探すのに専念していたので、私は、様々な生き物を見つけるようにしました。ここは、対馬においても珍しい魚や貝が見つかる場所とされていて、ハサミシャコエビ等も多数見つかりました。



③② 対馬市 厳原町久和 久和川（7月30日）

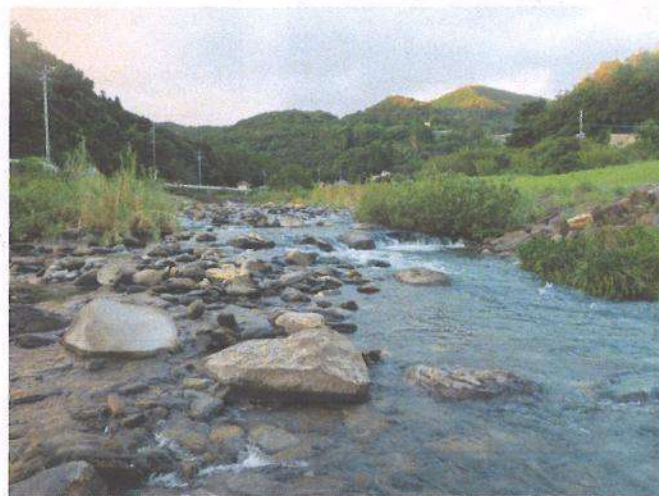
久和川は、対馬の南端に位置し、萱場山東側斜面を水源に久和浦に注ぐ
流程延長約1.1kmの二級河川です。長崎本土の西彼杵半島の小河川と似た
ような川です。河口左岸側に船だまりがあり、そこに干潟状の底となっ
ていました。チゴイワガニやカワスナガニがおり、カワスナガニ天国となっ
ていました。兄によると、本流150m上流では、水が伏流して枯れ川のよ
うな状況になっているそうです。対馬では珍しいミナミテナガエビが見つ
かるなど、対馬暖流の影響を強く受けているのだそうです。



③③ 長崎市神浦川河川公園（8月2日）

三方山南西斜面を水源に角力灘に注ぐ、流程延長約9.5kmの二級河川で
す。調査地点は、そとめ神浦川河川公園内です。親子環境教室で父のお手
伝いをしました。たくさんの参加者に生物の名前を教えたり、実際に魚を
捕まえてあげたりするのはとても難しかったですが、とても良い経験にな
りました。調査中に大型のボウズハゼやヒメヌマエビを見つけることが出

来ました。また、参加者の中にユゴイを捕まえた人がいて、びっくりしました。



3 調査地点について（2）令和5・6年の調査地点



五島市奥浦



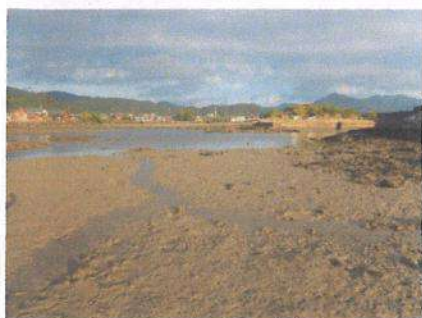
五島市岐宿鰐川上流



五島市岐宿鰐川中流



五島市玉之浦中須川



五島市富江土取



五島市岐宿丸子川



五島市 増田川



雲仙市 千々石川



南島原市有馬川河口



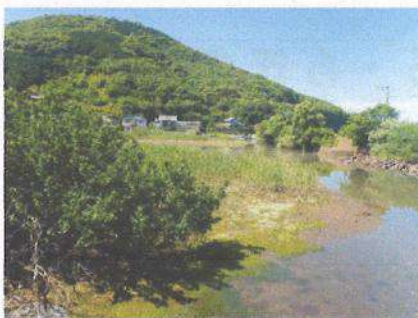
南島原市有馬川中流



雲仙市 西郷川



島原市有明 湯江川



諫早市東園野副干瀉



長崎市長浦 手崎川



島原市新田 大手川



長崎市 神浦川下流



壱岐市 石田町筒城



壱岐市 幡鉾川中流①



壱岐市 幡鉾川支流



壱岐市 芦辺深江東触



壱岐市 芦辺諸吉南触



壱岐市 渡良東触



壱岐市 町田川上流



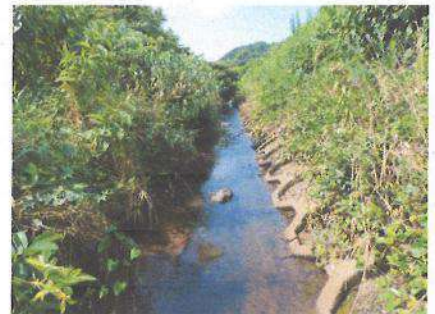
壱岐市 町田川



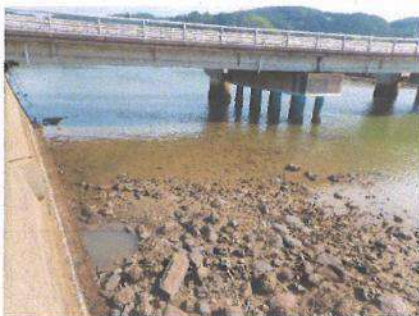
壱岐市 幡鉾川中流②



壱岐市 幡鉾川上流



壱岐市 谷江川中流



壱岐市 谷江川下流

3 調査地点について(3) 令和4・5年の調査地点



新上五島町 蛤浜



相河川下流



相河川中流



今里川河口



若松中央運動公園



佐世保 小森川中流



長崎市 若菜川下流



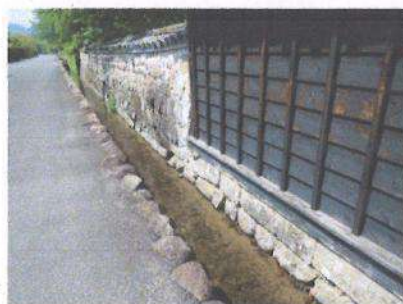
若菜川支流



若菜川中流



小長井町 長里川下流



国見町神代小路



国見神代川



松浦市 今福川下流



松浦市 調川川



平戸市 神曾根川

3 調査地点について（４）令和３・４年の調査地点



諫早市伊木力川下流



伊木力川中流



口之津川



長崎市 江川川



長崎市鹿尾川



長崎市神浦川



長崎市 杉谷川



西海市 多以良川



多以良川中流



諫早市 有喜川



諫早市 今里川

3 調査地点について（5）令和2・3年の調査地点



長崎市多以良川

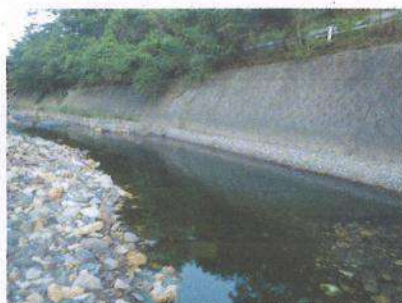


長崎市多以良川



長崎市相川川

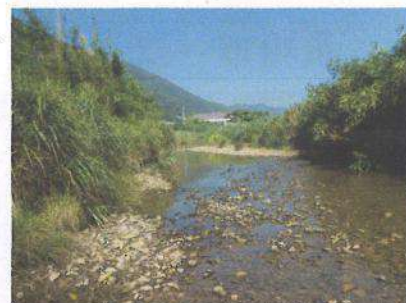
3 調査地点について（6）令和2年度の調査地点



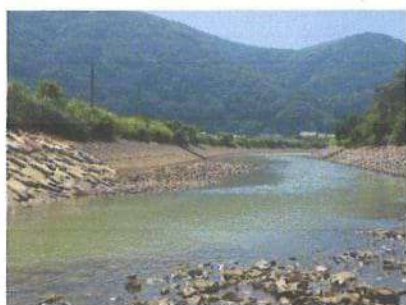
対馬 洲藻川中流



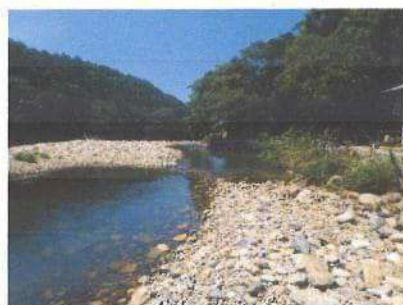
対馬 阿連川下流



対馬 佐須川



対馬 久根川

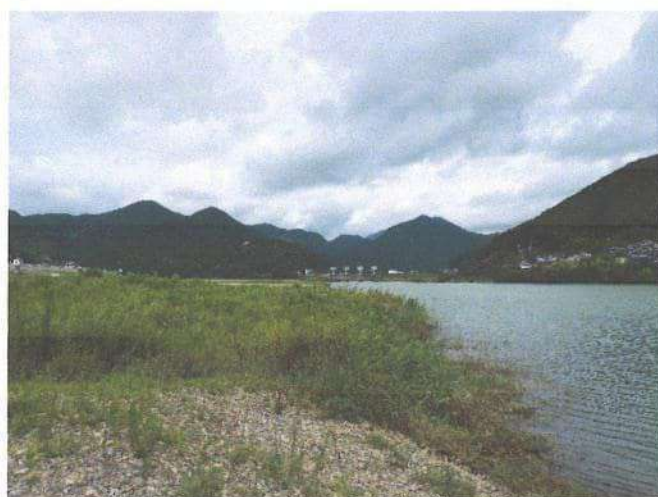


対馬 瀬川

3 調査地点について（7）その他



伊勢市 五十鈴川（目視）



新宮市 熊野川（目視）

これまで6年間の調査地点を次のページの地図で表しました（父が作成しました）。

調査地点

● R 2 年度の調査地点

● R 3 年度の調査地点

● R 4 年度の調査地点

● R 5 年度の調査地点

● R 6 年度の調査地点

● R 7 年度の調査地点

対馬

壱岐

五島

大村湾

有明海

五島灘

橘湾